

# 日本公共政策学会 会報 No.61 2019年5月

PPSAJ Newsletter Public Policy Studies Association, Japan

1. 2019年度研究大会開催案内
2. 「公共政策フォーラム 2019 in いわぬま」開催案内
3. 「公共政策フォーラム 2020 in みなみいせ」開催予告
4. 理事会記録(第116回)
5. 理事会記録(第117回)
6. 新入会員紹介
7. 理事会開催のお知らせ
8. 事務局からのお知らせ

## 1. 2019年度研究大会の開催案内

### ■ 研究大会プログラム

共通テーマ: 「公共政策研究のさらなる発展のために:人材育成と研究の進展に向けて」

開催校: 追手門学院大学

開催日時: 2019年6月8日(土)・9日(日)

#### 開催趣旨

2019年度研究大会企画会  
委員長 岩崎 正洋

日本公共政策学会2019年度研究大会は、6月8日(土)・9日(日)に追手門学院大学(大阪府茨木市)において開催されます。本大会の共通テーマは、「公共政策研究のさらなる発展のために:人材育成と研究の進展に向けて」です。

初日の共通論題では、「公共政策に関する大学院教育と進路の現状と課題」というテーマをとり上げます。本学会では、これまで学部レベルの公共政策に関する教育について、しばしば議論されてきましたが、大学院の教育や大学院を修了した後の進路については、あまり議論されてこなかったように思われます。今回は、ラウンドテーブル形式により、いくつかの大学院の事例を中心とした情報の提供や交換、それらをふまえた議論の場を設けることで、公共政策研究を担う今後の人材育成に向けた展開を考えてみたいと思います。

二日目の共通論題は、「公共政策研究における地方自治とガバナンス」と題し、公共政策研究における一つ

の代表的な研究フィールドである「地方自治」に焦点を絞るとともに、単に地方自治研究に留まらないような奥行きのある視角として「ガバナンス」論にも着目することにより、実証的かつ学際的な研究報告の提示を期しております。年に一度の研究大会において、日本における公共政策研究の先端的な研究成果が提示され、それに対して真摯な討論がなされることを期待して企画を準備しました。

初日午前には、若手報告セッションを6つ、初日午後から二日目の午後にかけて、自由公募セッションを6つ、企画委員会セッションを7つ配置しております。当初、テーマ別公募セッションとして、「公共政策と大学教育」、「若手研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス」、「大学とガバナンス」の3つの募集を行いました。これらのうち最初の二つについては、応募状況をふまえて最終的に企画委員会セッションという位置づけで開催することになりました。企画委員会セッションは他にも「実験手法と公共政策学」、「福祉国家財政の構造的変化と福祉政治」、「ゲームチェンジャー技術と安全保障政策」、「利益集団・組合行動の政治経済学」、「地域自治組織と市民参加・参加民主主義」などがあり、公共政策研究の先端的な研究動向をご理解いただけるものになっていると思われまます。

若手報告セッションでは、1つの報告につき2人の討論を配置することにより、若手会員にとって今回の報告が今後の研究の発展に役立つように企画しました。また、初日から二日目にかけての共通論題や企画委員会セッションを通じて、研究者の養成(人材育成と研究の進展)に向けた議論も併せて行うことができると考えております。若手・中堅の会員はもちろん、現在、学部生や大学院生の指導を担っているヴェテランの会員や、既に立派に後進を育てられた重鎮の会員にも参加していただくことで、今年度の研究大会が公共政策研究のさらなる前進につながるものになればと願っております。

## **第1日目 2019年6月8日(土)**

**9:30~**           **受付**(5号館 B1 階学生ホール)

### **10:00~11:30 若手報告セッション**

#### **若手報告セッション I** (5号館 2階 5201 教室)

報告: 山田健(北海道大学大学院)「分権的制度配置における国家的事業の展開:高度成長期の鹿島港整備を事例として」

渡邊有希乃(早稲田大学大学院)「競争入札と行政組織の限定的合理性:公共工事調達の適正価格を巡る“ダブルスタンダード”はどのように説明されるか」

司会: 山谷清秀(浜松学院大学)

討論: 野田遊(同志社大学)・山谷清秀(浜松学院大学)

#### **若手報告セッション II** (5号館 2階 5202 教室)

報告: 成鎮宇(京都大学大学院)「権限移譲と地方政府の政策実施——介護サービス事業者に対する事後コントロールの実証分析」

安藤加菜子(京都大学大学院)「ケア従事者への現金給付政策の動向」

司会: 西岡晋(東北大学)

討論: 荒見玲子(名古屋大学)・西岡晋(東北大学)

### 若手報告セッションⅢ (5号館2階5203教室)

報告: 伊藤哲也(法政大学大学院)「市区町村における議員定数の多様化」  
浅井直哉(日本大学)「日本における政党助成制度の逆進性:政党交付金は新党の組織化を促進  
するののか」

司会: 辻陽(近畿大学)

討論: 谷口将紀(東京大学)・辻陽(近畿大学)

### 若手報告セッションⅣ (5号館3階5302教室)

報告: 熊田知晃(明治大学大学院)「自治体文化政策における専門的人材に関する考察——鹿児島県の  
文化政策担当職員を事例に」

祐野恵(京都大学)「市レベルの議員による政策に関する知識・情報の取得——政務活動費を用  
いた分析」

司会: 森裕亮(北九州市立大学)

討論: 入江容子(愛知大学)・森裕亮(北九州市立大学)

### 若手報告セッションⅤ (5号館3階5303教室)

報告: 杉谷和哉(京都大学大学院)「日本型 EBPM」の展開と課題——2010年代統計改革の政策過程と  
エビデンス論」

張愛倫(京都大学大学院)「ジェンダー主流化の施行——国際比較から見るGMの特徴」

司会: 坂本治也(関西大学)

討論: 秋吉貴雄(中央大学)・坂本治也(関西大学)

### 若手報告セッションⅥ (5号館3階5304教室)

報告: 奥田恒(京都大学大学院)「プライバシーの制限をともなう政策手段について——政策手段論と政策  
規範論の観点から」

福森憲一郎(日本大学大学院)「サイバースペースの行動規範に関する「安定性」の言説分析」

司会: 土屋大洋(慶應義塾大学)

討論: 加藤朗(桜美林大学)・土屋大洋(慶應義塾大学)

### 11:30~12:45 昼休み

**理事会**(5号館8階大会議室)

### 12:45~14:45 個別テーマセッションⅠ

#### 企画委員会セッションⅠ 研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス——研究者のダイバーシティ確保 のために(5号館2階5202教室)

報告: 深谷健(武蔵野大学)「ポストドク留学とアカデミック・キャリア形成」

藤田由紀子(学習院大学)「ダイバーシティ確保における論点の広がり」

北川雄也(同志社大学)「障害を持つ研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス」

司会: 辻陽(近畿大学)

## 企画委員会セッションⅡ 実験手法と公共政策学(5号館2階5203教室)

報告: 原田勝孝(福岡大学)・伊藤岳(広島大学) “Measuring Destruction from Above: The long-term impact of the WWII air raids in Japan”

篠原舟吾(国際大学) “Bad Performance-Low Trust Link and Local Government: A Quasi-Experimental Study”

司会: 坂本治也(関西大学)

討論: 砂原庸介(神戸大学)・秦正樹(京都府立大学)

## 自由公募セッションⅠ(5号館3階5302教室)

報告: 高橋勇介(京都大学) 「非正規雇用から正規雇用への移行に対する実証分析——雇用保険と教育訓練給付の問題を中心に」

野崎祐子(安田女子大学) 「日本における保育・幼児教育コスト意識と施策」

司会: 中川雅之(日本大学)

討論: 堀真奈美(東海大学)・中川雅之(日本大学)

## 自由公募セッションⅡ(5号館3階5303教室)

報告: 小林悠太(ひょうご震災記念21世紀研究機構) 「中央府省の組織編制2000-2015:局課中心の分析からの転換に向けて」

田口一博(新潟県立大学) 「公共政策学における公文書史料とデータアーカイブ」

司会: 市川喜崇(同志社大学)

討論: 木寺元(明治大学)・市川喜崇(同志社大学)

## 自由公募セッションⅢ(5号館3階5304教室)

報告: 幸田雅治(神奈川大学) 「市町村合併と大規模災害」

山岸絵美理(大月市立大月短期大学) 「消防行政と住民協働」

三浦正士(長野県立大学) 「大都市行政と市民防災政策」

黒石啓太(日本都市センター) 「島嶼を含む非常備消防自治体における防災対策の現状と課題」

司会: 牛山久仁彦(明治大学)

討論: 永田尚三(関西大学)

## 15:00~16:30 共通論題Ⅰ 公共政策に関する大学院教育と進路の現状と課題(5号館2階5201教室)

パネリスト: 真山達志(同志社大学)

浅野耕太(京都大学)

岡本哲和(関西大学)

加藤淳子(東京大学)

伊藤恭彦(名古屋市立大学)

モデレーター: 岩崎正洋(日本大学)

## 16:40~17:10 会長講演(5号館2階5201教室)

縣公一郎(早稲田大学) 「日本公共政策学会の軌跡——大会報告論題を概観して」

17:10~17:40 **総会**(5号館2階5201教室)

17:40~18:00 **学会賞授与式**(5号館2階5201教室)

19:00~ **懇親会**(ホテル阪急エキスポパーク)

**第2日目 2019年6月9日(日)**

9:30~ **受付**(5号館B1階学生ホール)

10:00~12:00 **個別テーマセッションⅡ**

**企画委員会セッションⅢ 福祉国家財政の構造的変化と福祉政治**(5号館3階5301教室)

報告: 佐藤滋(東北学院大学)「福祉国家財政の再編と変容:国際比較からみるスウェーデンの位置付け」  
古市将人(帝京大学)「スウェーデン財政の構造変化と人々の分断」  
秋朝礼恵(高崎経済大学)「スウェーデンの福祉政治——2000年代以降の政治的対抗と有権者からの支持調達」

司会: 西岡晋(東北大学)

討論: 北山俊哉(関西学院大学)・藪長千乃(東洋大学)

**企画委員会セッションⅣ 公共政策と大学教育**(5号館3階5302教室)

報告: 村上紗央里(同志社大学大学院)・新川達郎(同志社大学)「公共政策学教育におけるカリキュラムの運営実態——京都市の3大学を事例に」  
滋野浩毅(京都産業大学)「現場実践教育科目による学生たちの学びと変化——京都産業大学現代社会学部『プロジェクト演習』に至る経験をもとに」  
久保友美(龍谷大学)「Community Based Learning から見える大学と地域の変化と課題——龍谷大学政策学部での取り組みを事例に」

司会: 梅原豊(京都府立大学)

討論: 杉岡秀紀(福知山公立大学)・大藪俊志(佛教大学)

**自由公募セッションⅣ**(5号館3階5303教室)

報告: 松尾隆佑(法政大学)「なぜ指定廃棄物処理は「失敗」したか——国および5県における政策過程の分析」  
田中雅子(東京大学)「家庭ごみ有料化を規定する政治要因」  
黒澤之(放送大学)「地方自治体の行政区域境で起きる環境影響評価手続きの問題——公共政策の視点」

司会: 宇佐美誠(京都大学)

討論: 宇野二郎(横浜市立大学)・宇佐美誠(京都大学)

### 自由公募セッションV (5号館3階5304教室)

- 報告: 和足憲明(大阪成蹊大学)「主権者教育の効果を検証する」  
尾鷲瑞穂(国立環境研究所)「日本におけるオープンサイエンス推進の論点とその課題」
- 司会: 松元雅和(日本大学)
- 討論: 宮脇昇(立命館大学)・松元雅和(日本大学)

### 12:00~13:00 昼休み

### 13:00~15:00 個別テーマセッションIII

#### 企画委員会セッションV ゲームチェンジャー技術と安全保障政策 (5号館3階5301教室)

- 報告: 小谷哲男(明海大学)「将来戦における米空母の有用性をめぐる議論」  
川口貴久(東京海上日動リスクコンサルティング)「なぜ新興技術の評価・予測は難しいのか？」  
鶴岡路人(慶應義塾大学)「ゲームチェンジャー技術をいかに阻止するか——『技術の論理』対『政治の論理』」
- 司会: 土屋大洋(慶應義塾大学)
- 討論: 加藤朗(桜美林大学)

#### 企画委員会セッションVI 利益集団・組合行動の政治経済学 (5号館3階5302教室)

- 報告: 山本英弘(筑波大学)「継続調査データからみる利益団体政治の構造と変容」  
米岡秀眞(山口大学)「地方公務員給与に対する組合組織の影響力」  
新倉純樹(国際経済労働研究所)「労働組合員の投票行動——組合員政治意識調査を用いた分析」
- 司会: 鷺見英司(新潟大学)
- 討論: 長峯純一(関西学院大学)・飯島大邦(中央大学)

#### 企画委員会セッションVII 地域自治組織と市民参加・参加民主主義 (5号館3階5303教室)

- 報告: 栗本裕見(大阪市立大学)「自治体コスト削減の中の“参加”？——伊賀市における公共施設廃止をめぐる地域組織の抵抗」  
宗野隆俊(滋賀大学)「市民自治組織とシビック・エンゲージメント:ポートランド市のネイバーフッド・アソシエーションから考える」
- 司会: 森裕亮(北九州市立大学)
- 討論: 金川幸司(静岡県立大学)・後房雄(愛知大学)

### 自由公募セッションVI (5号館3階5304教室)

- 報告: 遠藤崇浩(大阪府立大学)「防災局面にみる地下水ガバナンス——政令指定都市における災害用井戸の現況と課題」  
宮脇健(日本大学)「高等教育機関の防災体制に関する調査研究——高等教育機関へのアンケート調査を基に」  
寺迫剛(行政管理研究センター)「過去のレファレンダムを振り返り、現在を照らす:原発立地をめぐる住民投票事例——巻町1996・海山町2001」

司会： 河村和徳(東北大学)

討論： 砂金祐年(常磐大学)・河村和徳(東北大学)

**15:00～15:15 若手最優秀報告賞表彰**(5号館2階5203教室)

**15:15～17:15 共通論題Ⅱ 公共政策研究における地方自治とガバナンス**(5号館2階5203教室)

報告： 野田遊(同志社大学)「公共サービスの業績情報と市民の評価」

青木一益(富山大学)「電力システムの分散化に果たす自治体・地域ガバナンスの可能性に関する  
考察——サステナビリティ・トランジション論からの示唆を得つつ」

木寺元(明治大学)「公共政策研究と価値中立」

司会： 岩崎正洋(日本大学)

討論： 松田憲忠(青山学院大学)・大山耕輔(慶應義塾大学)

## ■ 会場等の案内

2019年度研究大会実行委員会  
委員長 朽尾 真一

### (1) 大会会場

- ◆ 追手門学院大学茨木安威(あい)キャンパス5号館2階～3階 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
- ◆ 受付は9時30分から5号館B1・学生ホールで開始します(2019年4月から茨木総持寺キャンパスが開設されていますが、会場は茨木安威キャンパスです)。

### (2) 懇親会場： ホテル阪急エキスポパーク

- ◆ 会費は6,000円の予定です。当日、受付にて会費をお支払いください。
- ◆ ホテルからの迎いのバスで移動します。当日ご案内します。ホテルからのお帰りはモノレール万博公園駅まで徒歩5分です。

### (3) 大会参加申込み

- ◆ 大会に参加する会員は、ホームページのリンクまたは下記のURLからお申し込みください。  
<https://forms.gle/2q5s3wtBF1NcrUtw6>
- ◆ 非会員は、当日、受付で会場負担金(1,000円)をお支払いください

#### (4) 予稿集(フルペーパー)

- ◆ 大会報告のフルペーパーは、2019年5月下旬に開設予定の下記の URL から事前にダウンロードしてください。このサイトは2019年6月末日に閉鎖します(期間限定公開です)。

<https://www.ccile.otemon.ac.jp/kyoiku/event/ppsj2019/>

ダウンロード用 ID: [REDACTED] (郵送された会報には掲載)

ダウンロード用パスワード: [REDACTED] (郵送された会報には掲載)

#### (5) 大会会場へのアクセス

- ◆ スクールバスをご利用ください。スクールバス以外に阪急バスが御座います。
- ◆ 6/8は通常のバスダイヤ便を増便する予定です。セッションの45分前のバスをご利用ください。6/9は特別ダイヤで運行予定です。大会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

#### (6) 昼食

- ◆ 昼食は大学構内の食堂棟1階「ごはんや追手門食堂」をご利用下さい。
- ◆ 学生会館のコンビニエンスストア「ファミリーマート」もご利用頂けます。

#### (7) 宿泊

- ◆ JR大阪駅からJR茨木駅まで快速で14分(普通で18分)、阪急梅田駅から阪急茨木市駅まで特急で17分(普通で)です。沿線や大阪市内の宿泊施設をお薦めします。茨木市内にも数件の宿泊施設は御座います。

#### (8) 報告者などのみなさまへ

- ◆ 会場には Windows8.1 の PC とプロジェクタがあります。Cドライブにはアクセスできませんので、USBメモリなどの外部メモリをお持ちください。持込PCはVGAまたはHDMI端子で接続できます。ケーブルも用意してあります。またディスプレイポートにも対応していますが、ケーブルの準備は各自でお願いします。
- ◆ コピー機はコンビニエンスストアと、コイン式のコピー機が5号館6階に設置されています。配付資料の印刷などで必要とする方はご利用ください。

#### (9) その他

- ◆ 当日は無線LANも準備します。接続時にログイン認証が必要です。再接続時にもログイン認証が必要です。

## 2. 「公共政策フォーラム 2019 in いわぬま」 開催案内

2019 年度公共政策フォーラム委員会  
委員長 富澤 守

### (1) テーマ

#### 「地域資源を活用した観光と交流人口拡大による震災復興」

##### (目的)

- ◆ 交流人口を拡大することで、被災者の心の復興を促進。引いては、被災地におけるコミュニティの再生、或いは地域力の向上につなげる。

##### (背景)

- ◆ 岩沼市では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災によって、死者 186 名、行方不明者 1 名、家屋被害 5,428 戸(平成 25 年 9 月 1 日現在)という過去に例を見ない極めて甚大な被害を受けた。
- ◆ このような中、岩沼市では、他の被災自治体に先駆け、復興計画を策定し、被災者の一日も早い生活の再建と産業の再生を目指し、同計画の推進を最優先に取り組んできた。
- ◆ 29 年度までの 7 年間の計画期間が満了となり、岩沼市の復興状況の現在地を確認したところ、「復興のトップランナー」として評されたとおり、ハード面においては順調な復興の進捗が得られた一方で、「心の復興」といったソフト面に関しては、まだ時間がかかるものと判断され、引き続き、被災者に寄り添った丁寧なサポートが必要となっている。
- ◆ 震災復興関連事業を推進する中で、津波威力の減衰と震災伝承・防災教育の場を目指し築造した「千年希望の丘」や、アニマルセラピーによる被災者の心の復興と生きがいの創造のため整備した「いわぬまひつじ村」といった観光面でも活用し得る新たな資源も整備したが、所期の目的と交流人口の拡大の点では一定の効果が得られているものの、極めて限定的な状態。
- ◆ 市内には、東北のグローバルゲートウェイである「仙台空港」が立地し、また、「竹駒神社」や「金蛇水神社」といった観光名所もあり、これらを軸とした観光施策をこれまでも取り組んできたが、単一自治体での限界も見えたことから、現在、県南 4 市 9 町による「宮城インバウンドDMO推進協議会」に参加するなど、広域的な観光施策を展開することにより、交流人口の拡大に取り組んでいるところである。

##### (コンセプト)

- ◆ 岩沼市の震災復興において、重要な目的の一つとなっている「被災者の心の復興」のために、交流人口の拡大を目指すに当たり、民営化したことによって今後も旅客数の増加が見込まれる「仙台空港」や既存の観光資源、観光施策の広域連携、或いは「千年希望の丘」や「いわぬまひつじ村」といった震災復興事業によって新たに整備された地域資源をいかに有機的に結び付け、かつ有効に機能させていくかが、岩沼市にとって大きな課題となっている。
- ◆ ついては、学生の皆さまからの政策提案を、岩沼市の復興に活かすとともに、復興の良きモデルケースとして、全国の被災地に波及することを期待し、本年度の政策コンペのテーマを「地域資源を活用した観光と交

流人口拡大による震災復興」とする。

※ 一部抜粋:【岩沼市震災復興計画マスタープラン(改定版)】

※ 参考:【岩沼市震災復興計画マスタープランフォローアップ計画, 岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3版)】

## (2) 会場

岩沼市民会館 (宮城県岩沼市里の杜一丁目 2-45 )

(<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kyoiku-sports/kominkan/shimin-kaikan/>)

## (3) 政策コンペ実施日

- ◆ 令和元年 11 月 23 日(土) 政策コンペ予選(開始時間等は, 応募チーム数を勘案して決定)  
→ 交流会
- ◆ 令和元年 11 月 24 日(日) 政策コンペ決勝  
→ 表彰式

## (4) 応募方法など

### A) 応募

- ◆ コンペの応募は, 1 ゼミ 1 チームとします。
- ◆ この政策コンペは, 学部生を対象としたものです。(大学院生は参加不可)
- ◆ 参加を希望されるチームは, 「学生コンペ参加申込書」(学会ホームページからダウンロード)を事務局へ提出ください。
- ◆ **応募締切は令和元年 7 月 26 日(金)17:00(必着)**です。

### B) 応募後の提出資料

- ◆ 応募以後, 以下を電子メールにより提出していただく予定ですので準備をお願いします。
  - ① 要約(小論文)の提出: **令和元年 10 月 15 日(火)**までに 1 万字程度(図表含む)の小論文を提出
  - ② 当日発表資料の提出: パワーポイントの電子データを E-mail で, **令和元年 11 月 18 日(月)**までに事務局あてに提出してください。なお, 容量が大きいデータは, 事務局の PC の都合により, 受信できません。
- ◆ 電子データのファイル形式, 送信方法等については, 応募チームに別途ご連絡します。
- ◆ 締切等について変更が生じた場合には学会ウェブサイトに掲載いたします。

## (5) 宿泊先候補地

- ◆ 宿泊施設については, 各自で手配願います。

### (参考：岩沼市内のホテル)

- ◆ 東京第一ホテル岩沼リゾート 宮城県岩沼市北長谷切通1-1 グリーンピア岩沼内
- ◆ ホテル桃幸 宮城県岩沼市中央1丁目1-1
- ◆ ホテル原田 宮城県岩沼市大手町3-18

※ JR 岩沼駅から JR 仙台駅までは、電車で 21～23 分程度です。

### (6) 市民会館への交通アクセスについて

- ◆ 電車でお越しの場合  
JR 東北本線, 常磐線「岩沼駅」から徒歩 20 分, 車で 5 分, 下車市民バスで 10 分(市民会館前下車)
- ◆ 仙台空港からお越しの場合  
車で 15 分

※ 空港から市民会館いきの市民バスもあります。(市HP・空港線参照)

<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/kotsu/2018-0129-1053-28.html>

※ 民間バスですが、空港から岩沼駅行きもあります。(仙台バス株式会社 HP)

<http://www.senbus.co.jp/noriai/>

### (7) 岩沼市連絡先

宮城県岩沼市桜一丁目 6 番 20 号

総務部政策企画課 企画調整係

電話：0223-22-1111 (内線 521,525)

FAX：0223-24-0897

MAIL: [seisaku-k@city.iwanuma.miyagi.jp](mailto:seisaku-k@city.iwanuma.miyagi.jp)

### (8) 参考情報

- ◆ いわぬま未来構想  
<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/shisei/shisaku/keikaku/keikaku.html>
- ◆ 岩沼市震災復興計画マスタープラン(改定版)/岩沼市震災復興計画マスタープラン～フォローアップ計画～  
<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/bosai/fukko/suishin/>
- ◆ 岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3版)  
<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/shisei/shisaku/senryaku/>

### 3. 「公共政策フォーラム 2020 in みなみいせ」 開催予告

2018 年度公共政策フォーラム委員会  
委員長 伊藤 久美子

2020 年度の公共政策フォーラムは、三重県南伊勢町で開催されることになりました。日程等詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

### 4. 理事会記録(第 116 回)

開催日時: 2019 年 1 月 5 日(土) 14 時 00 分～16 時 30 分

会場: 早稲田大学 26 号館 1102 会議室

出席者: 縣公一郎, 浅野耕太, 砂金祐年, 市川喜崇, 岩崎正洋, 宇野二郎, 大山耕輔, 河村和徳, 木寺元, 谷口将紀, 辻陽, 土屋大洋, 朽尾真一, 中川雅之, 永田尚三, 野田遊, 福井秀樹, 松田憲忠

委任欠席者: 伊藤久美子, 宇佐美誠, 川勝健志, 焦従勉, 高村ゆかり, 田口一博, 富澤守, 檜原真二, 廣瀬克哉, 藤原静雄, 宮脇昇, 山本健太郎

欠席者: 磯崎初仁, 加藤淳子, 金子憲, 鈴木庸夫, 福田耕治, 堀真奈美, 松元雅和, 森裕亮, 増山幹高(監事), 土山希美枝(監事)

#### **報告事項**

##### 1. 2019 年度研究大会について

- ◆ 2019 年度研究大会実行委員長の朽尾真一会員より, 追手門学院大学で開催予定(2019 年 6 月 8 日・9 日)の 2019 年度研究大会について, 学内補助への申請手続きが順調に進んでいるとの報告がなされた。
- ◆ 懇親会の会場については, キャンパス内で開催した場合の交通手段確保の難しさを踏まえて, 学外での開催を検討していることが説明された。

##### 2. 2019 年度研究大会企画について

- ◆ 2019 年度研究大会企画委員長の岩崎正洋会員より, 2019 年度研究大会での報告募集を, 「若手研究者による研究報告セッション」と「自由公募セッション(個人による研究報告, 複数名によるセッション企画)」という従来の 2 つのカテゴリーに加えて, 「テーマ別公募セッション」のカテゴリーを新たに設置して, 進めているとの報告がなされた。
- ◆ 「テーマ別公募セッション」の具体的なテーマは, 2019 年度では, 「公共政策と大学教育」, 「若手研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス」, 「大学とガバナンス」という 3 つのテーマであることが説明された。
- ◆ スケジュールは, 会報発行が遅れていることを踏まえて, 例年より後ろにずらし, 応募締切を 2019 年 2 月 15 日(金), 報告要旨集用原稿提出締切を 2019 年 4 月 12 日(金), 報告論文提出締切を 2019 年 5 月 24 日

(金)と設定していることが報告された。

- ◆ 報告募集への応募に際して、これまで提出が求められていた個人情報的大幅に省略し、氏名、電子メールアドレス、所属、報告テーマと概要のみとするとともに、報告概要の文字数を従来の 3,000 字から 1,200～2,000 字程度に変更するとの説明がなされた。
- ◆ 2019 年度研究大会では、上記の公募セッションに加えて、企画委員会企画セッション(5 つ程度)、共通論題(2 つ)、会長講演、理事会が行われ、セッション等の合計数は、従来のものと大きく違いはないことが説明された。

### 3. 『公共政策研究』(第 18 号)について

- ◆ 2018 年度年報委員長の土山希美枝会員より(事務局代理説明)、「地方自治の公共政策」を特集テーマとして編集を進めてきているが、原稿収集と校正の進捗が遅れているため、現在は 1 月中の完成を見込んでいることが報告された。
- ◆ 年報の構成は、巻頭言、特修論文(6 本)、書評(4 本)、投稿論文(6 本)と、編集後記と学会賞報告となることが説明された。

### 4. 『公共政策研究』(第 19 号)について

- ◆ 2019 年度年報委員長の宮脇昇会員より(事務局代理説明)、前回理事会での報告内容に沿って進めているとの報告がなされた。

### 5. 2019 年度公共政策フォーラムについて

- ◆ 2019 年度公共政策フォーラム委員長の富澤守会員より(事務局代理説明)、2019 年度の公共政策フォーラム(宮城県岩沼市で開催)の日程が、2019 年 11 月 23 日(土)・24 日(日)に開催されることが報告された。
- ◆ 従来の開催日程(10 月中旬～下旬)より遅れることについて、出席している理事から、開催自治体の選挙日程が理由の 1 つとしてあるのではないかという指摘がなされた。
- ◆ 出席している複数の理事から、学生政策コンペへの参加エントリーや論文提出等の手続きについての意見が表明され、その意見を 2019 年度公共政策フォーラム委員長に伝えることが確認された。
- ◆ 出席している複数の理事から、学生政策コンペの場での参加学生へのフィードバックや、参加ゼミの教員からの公共政策フォーラム後のフィードバックの重要性が指摘された。それらの指摘について今後検討していくことが決定された。

### 6. 2020 年度研究大会について

- ◆ 2020 年度研究大会について、永田尚三会員より、関西大学・高槻ミューズ・キャンパスで開催予定であることと、学内手続きが順調に進んでいることが報告された。
- ◆ 日時については、おそらく次回理事会で、暫定的であるが、報告可能であるとの見通しが示された。

### 7. 学生政策コンペ(一般部門)について

- ◆ 学生政策コンペ(一般部門)実施委員長の永田尚三会員より、前執行部のもとで決定された公共政策フォ

ーラム(一般論題)を, 2020 年度に試行的に実施する方向で検討していることが報告された。

- ◆ 日程調整等については, 従来型の公共政策フォーラムとの共存共栄を重視しながら, 進めていくことが説明された。
- ◆ 詳細については, 次回理事会で示されるとの説明がなされた。

## 8. 大学コンソーシアム京都での表彰について

- ◆ 縣公一郎会長より, 2018 年 12 月 16 日に開催された大学コンソーシアム京都に出席して, 例年通り, 日本公共政策学会賞の授与が行われたことが報告された。

## 9. J-STAGE 利用説明会への参加について

- ◆ 事務局より, 『公共政策研究』の電子ジャーナル化に伴う諸手続きの一環として, 2018 年 12 月 7 日に開催される J-STAGE 利用説明会に出席したことが報告された。
- ◆ 今後は J-STAGE, 国際文献社, 事務局のあいだで必要な手続きを進めていき, 過去の論文の公開は, 新年度に入ってからになるとの見通しが示された。

## 10. 2018 年度名簿・会報(60 号)送付について

- ◆ 事務局より, 会報(60 号)の原稿提出と校正が年末までに済んだことと, 会報と名簿の発送は今月上旬に行われることが報告された。

## 11. その他

- ◆ 2018 年度公共政策フォーラムについて, 2018 年度公共政策フォーラム委員長の伊藤久美子会員より(事務局代理説明), 無事に終了したと, 詳細は, 近日発行の会報(60 号)に記載されることが, 報告された。

## **審議事項**

### 1. 2018 年度研究大会決算について

- ◆ 2018 年度研究大会実行委員長の加藤朗会員から提出された資料に基づき, 2018 年度研究大会の決算について, 事務局より説明が行われた。収支は, 26,800 円の赤字となり, それを加藤会員が立て替えていることが報告された。この点について, 大学補助の対象が当初の想定よりも限定的であったことと, 学会からの補助が加藤会員からのご提案に基づいて例年よりも 10 万円少なく支給されたことを踏まえて, 赤字分を学会が負担することが決定された。

### 2. 2018 年度研究大会での企画委員会セッションの記録公表について

- ◆ 前々回理事会(2018 年 6 月 16 日)と前回理事会(2018 年 11 月 24 日)で審議された 2018 年度研究大会での企画委員会セッション(「インバウンド観光の展開, 可能性そして今後の課題」)の録音記録の公表の件について, 2019 年度研究大会企画委員長の岩崎正洋会員より, セッションの録音および記録公表等に関する

対応案が提示された。この案では、セッション実施が決まった段階で企画委員長から録音とその記録公表の希望の意思確認が行われることと、希望が出た場合には、その後の手続きはセッション企画者と企画委員長のあいだで進められることが示された。この案について審議を行った結果、提案のとおり承認された。

### 3. 若手海外派遣助成について

- ◆ 国際交流委員長の野田遊会員より、「若手研究者 ICPP 等派遣報告者募集のお知らせ」が前回理事会(2018年11月24日)直後に学会ウェブサイトに掲載され募集が開始されたことと、2018年12月31日の締切までに2件の応募があったことが報告された。
- ◆ この2件について、国際交流委員会で審査した結果、いずれもICPP4で積極的にアピールすべき優れた研究であるという報告がなされ、そのうえで、パネル派遣の予算から若手海外派遣補助へ付け替えることを条件に、今回にかぎり2件とも採択したいとの提案が示された。この提案について審議した結果、2件採択が決定された。

### 4. 会員異動について

- ◆ 事務局より、5名の入会申請と5名の退会申請があったとの報告がなされ、了承された。
- ◆ 理事会後の会員数は、個人会員が967名、団体会員が5団体となった。
- ◆ 年会費納入の举证責任については、会員管理を行っている国際文献社ではなく、各会員にあることが確認され、年会費納入依頼書に振込記録の保管を明記することとなった。

### 5. その他

- ◆ 次回理事会(第117回)は、2019年4月20日(土)14時から、追手門学院大学で開催される予定であるとの報告が事務局より行われた。会議室等の詳細については、確定し次第、連絡されることが、朽尾真一会員より説明された。

## 5. 理事会記録(第117回)

2019年4月20日(土)に開催されました第117回理事会の記録は、次号の会報に掲載いたします。

## 6. 新入会員紹介

### 第116回理事会で承認された新入会員

川口貴久、竹中勇貴、中川洋一、東義孝、山根喜久子  
(敬称略)以上、5名の方が新規に入会されました。

※ 第117回理事会で承認されました新入会員の紹介は、次号の会報で行います。

## 7. 理事会開催のお知らせ

第 118 回理事会

◆開催日時: 2019 年 6 月 8 日(土)  
11:30～

◆会場: 追手門学院大学 茨木安威キャンパス  
5 号館 8 階大会議室  
大阪府茨木市西安威 2 丁目 1 番 15 号

第 119 回理事会

調整中

## 8. 事務局からのお知らせ

### 2019 年度年会費納入のお願い

個人会員は 8,000 円/年(大学院生の会員は 5,000 円/年。ただし、大学院生の会員は、年度当初に在学証明書の提出が必要)、団体会員は 50,000 円/年です。2017 年度以前の年会費未納の会員の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は、会員名簿、会報、学会誌の受領、大会・フォーラムへの参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意くださいようお願いいたします。

### 口座番号は次のとおりです。

#### 郵便局

郵便振替口座: 00850-0-216663  
加入者名: 日本公共政策学会

#### 他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行  
店番: 089(店名:ゼロハチキュウ)  
当座預金: 0216663  
加入者名: 日本公共政策学会

### 会報パスワードについて

学会ホームページに掲載されています会報のバックナンバーの閲覧には以下のパスワードが必要です。

20ppsaj05

## 日本公共政策学会 会報 第 61 号

2019 年 5 月 10 日発行

編集・発行

日本公共政策学会事務局

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 法学部 松田研究室

学会メールアドレス: jimukyoku@ppsaj.jp

学会ウェブサイト: <http://www.ppsaj.jp/>

郵便振替口座: 00850-0-216663 日本公共政策学会

**PPSAJ Newsletter No.61, May 2019**

Copyright 2019 Public Policy Studies Association, Japan